

4

特集

## ノーベル賞受賞で加速する オートファジーの 臨床への応用

水島昇 教授 清水重臣 教授 渡辺守 教授  
東京大学 東京医科歯科大学 東京医科歯科大学  
大学院医学系研究科 難治疾患研究所 大学院医歯学総合研究科

稲澤譲治 教授 岡澤均 教授  
東京医科歯科大学 東京医科歯科大学  
難治疾患研究所 難治疾患研究所

14

医療研究 ★ 最前線 未来医療を拓く

着床障害の原因となる遺伝子を同定  
原因診断につなげて妊娠率向上へ

大学院医歯学総合研究科 疾患モデル動物解析学分野  
金井正美 教授

印刷技術を応用して細胞を積層化  
歯周組織などの再生医療に応用

大学院医歯学総合研究科寄附講座 ナノメディスン(DNP) 講座  
岩崎剣吾 講師

18

附属病院 ◎ 診療科訪問

歯学部附属病院 先端歯科診療センター

19

卒業生の今 ◎ 「活躍する医科歯科人」

株式会社ロッキーマウンテンモリタ  
管理部 開発・技術サービス課

小野由貴奈氏

20

医科歯科大生 file ◎ 「自ら問い、自ら導く学生たち」

歯学部歯学科4年 竹村 修さん

21

医科歯科百景

解体新書

22

Campus Information



今号の表紙

国府台は千葉県市川市の北西部にあり、千葉県の自然豊かな文教地区として知られています。東京医科歯科大学国府台キャンパスには教養部が置かれていて、1年生はおもに国府台キャンパスで授業を受けます。



本学の第3期中期目標のビジョンとして「知と癒しの匠を創造し、人々の幸福に貢献する」を掲げました。この基本理念を実現するため、大学構成員全員が使命感と愛校心を持って、目標実現に向かって全力を尽くせるように、大学改革に努力してまいりたいと考えています。

具体的には、本年度から始まった第3期中期目標期間において、大学の機能強化を行うため、4つの戦略を立ち上げました。

一つ目の戦略は、新たな概念の先制医療の研究を推進するとともに、国内外で活躍できるグローバル人材を育成するため、各種医療情報を統合的に扱う統合的先制医療保健学の世界的教育・研究拠点を形成することです。そのため、大学院の改組を行い、バイオインフォマティクスなど各種の医療情報や、歯学保健学におけるIoT、AI、ロボティクスなどについて統合的に取り扱う人材育成と研究を行う教育研究分野を設置したいと考えています。

二つ目の戦略は、全学的組織である統合教育機構と統合国際機構の連携により、これまで継続的に取り組んできた医学・歯学・教養教育改革や海外拠点活動の実績を基にさらに発展させ、医学・歯学教育カリキュラムの革新的なアドバンスト・モデルを開発し、TMDU型教育として発信、浸透させていくことにより国際化を牽引していくことです。

私は、各国の実情に応じた教育カリキュ

## 第3期中期目標期間に臨む

ラムでの教育指導や医療システムの構築など現地社会の中での医療系人材育成を継続的に実施していくことが、真の国際貢献だと考えています。

したがって、既に開講したチリ大学及びチュラロンコン大学のJDP(ジョイント・ディグリープログラム)に引き続き、ガーナ大学やマヒドン大学との教育研究に係る連携体制に向けて具体的な検討を進めてまいりたいと考えています。

三つ目の戦略は、本学の特色・強みである先端的な医学・歯学・工学の有機的な連携を図り、基礎研究を速やかに医療の現場に生かす先端医歯工学研究拠点を形成することで、優れた研究成果の情報発信や社会実装を促進することです。

本学の研究領域における学内組織の壁を打破し、強みの分野を戦略的に支援するため、統合研究機構を設置し、画期的なイノベーションの創出及び実用化を加速していきたいと考えています。

さらに産官学連携を充実させるための機構改革を行い、産官学連携推進による外部資金獲得も強化していきたいと考えています。

四つ目の戦略は、統合情報機構の設置であります。学内外のデータを一括して集積・分析して管理運用することで、教員評価・給与体系など国際通用性を図ることにより、外国人教員等の雇用環境整備を図り、教育・研究の国際化を促進したいと考えています。

います。また、本学の各分野の強み・弱みを把握・分析することによる教育研究力の強化や、学内資源の効率的な活用によるコスト削減を実現し、大学の経営改善や学生支援、教育、あるいは臨床医歯学の質向上に努めていくマネジメント改革を促進していきたいと考えています。

以上4つの戦略に加え、医学部附属病院と歯学部附属病院との連携をさらに強化し、両病院の経営安定化を図るため、統合診療機構を設置することとしています。これにより、大学全体の視点から病院を運営して医療と臨床医歯学教育の質向上と大学の財政強化を図りたいと考えています。

統合教育、統合研究、統合診療の3機構を縦軸にし、統合国際、統合情報を横軸にした新たなガバナンス体制を構築することにより、将来の大学運営に資する戦略を企画し実施してまいりたいと考えています。将来の東京医科歯科大学のあるべき姿を見すえて、学内構成員が一致団結して取り組める体制を整えながら、大学改革を進めていく所存であります。

学長が身につけているバッジとネクタイは、本学オリジナル。大学基金の寄附者へ贈呈しています。